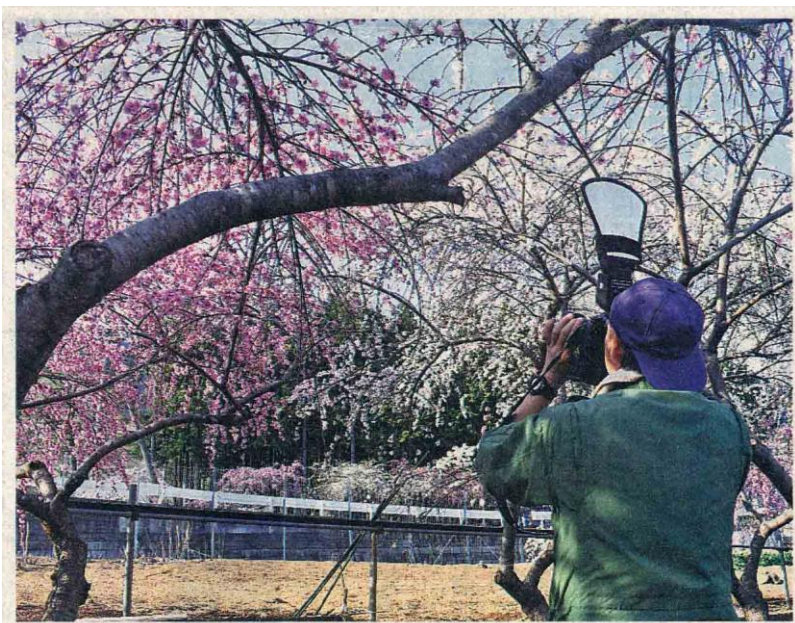


華やぐ春

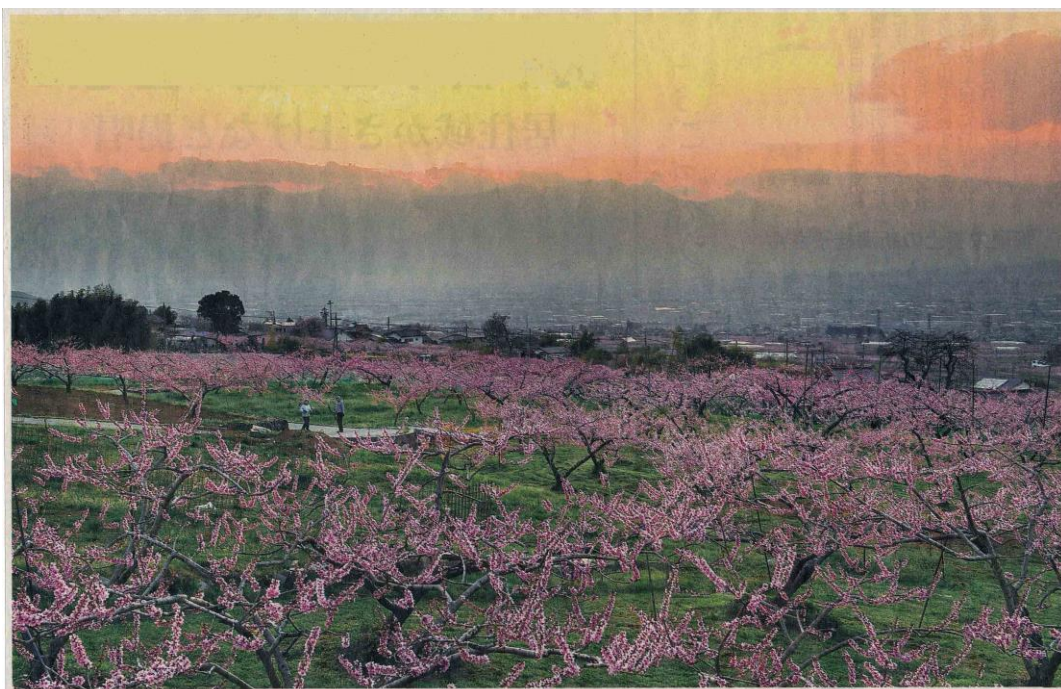
暖かな日が続く中、県内各地で桃や桜の見頃が続いている。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出は自粛ムード。家にいながら春を感じられるよう、県内各地の花風景を切り取った。



大月エコの里 (大月市)

○…大月市富浜町鳥沢の里山農地「大月エコの里」で、ソメイヨシノや花桃が見頃を迎えている。運営するNPO法人「おおつきエコビレッジ」は「千本桜プロジェクト」と題して2005年からソメイヨシノなど約850本を植えている。

(撮影・松崎篤嗣)



御坂町の桃畑 (笛吹市)

○…笛吹市御坂町大野寺で桃の花が満開を迎えた。なだらかな斜面に広がる桃畑は一面に鮮やかなピンクに染まり、地面を覆う若草の緑色とのコントラストが鮮やか。夕暮れには西の空があかね色になり、残照に包まれた桃畑の中を地元の人が散歩していた。

(撮影・広瀬徹)

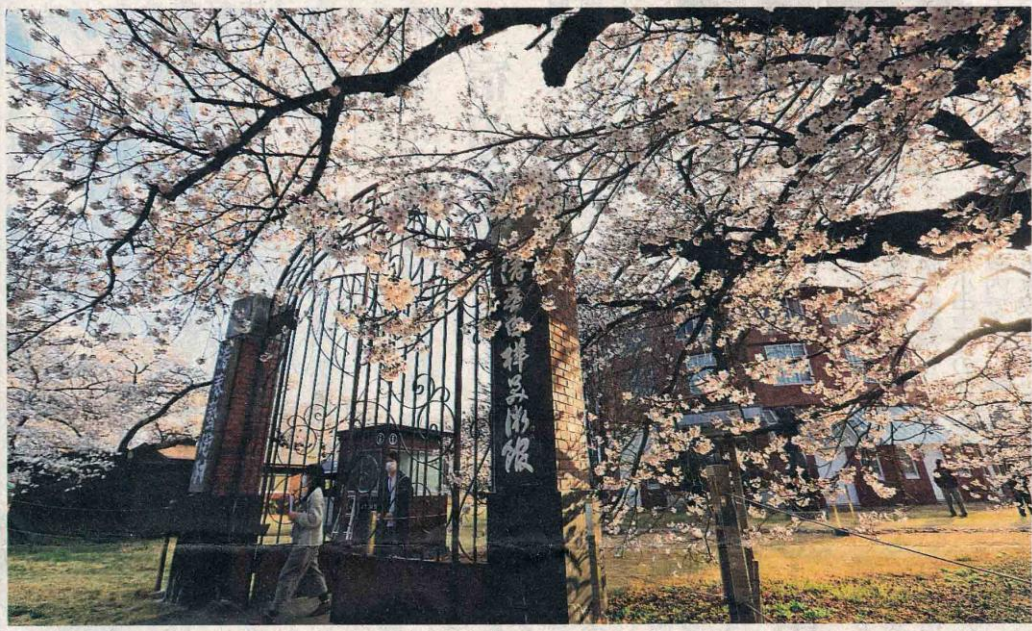


乙ケ妻の シダレザクラ

(山梨市)

○：樹齢150〜200年といわれる山梨市牧丘町室伏の「乙ケ妻おつかつまのシダレザクラ」。高い丘の上に1本だけ立つ姿が特徴となっている。

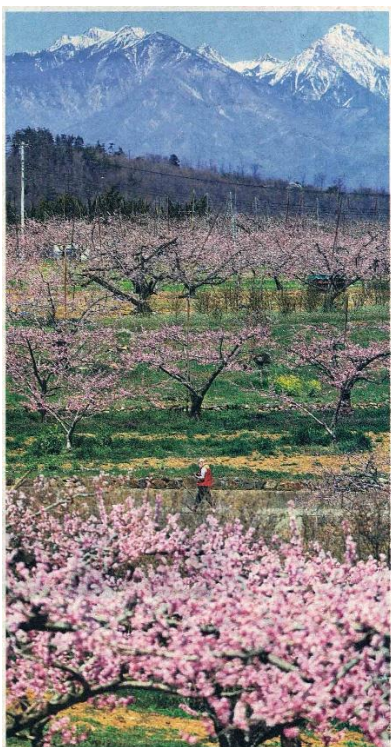
(撮影・山本成美)



青春芸術村 (北杜市)

○：北杜市長坂町中丸の青春芸術村では、敷地を囲むように植えられたソメイヨシノとヤマザクラ約50本がほぼ満開。「青春のサクラ群」として県指定天然記念物になっている。

(撮影・上田康太郎)



○：斐崎市中田町中条の「新府桃源郷」も見頃を迎えている。天気に恵まれば、桃の花越しに雪をかぶった八ヶ岳を望める。

(撮影・上田康太郎)

八ヶ岳と新府桃源郷 (斐崎市)